

墨田清掃工場の整備手法について

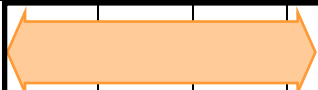
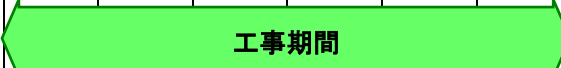
1 墨田清掃工場の整備手法比較

東京二十三区清掃一部事務組合（以下「清掃一組」という。）が、令和3年2月に改定した一般廃棄物処理基本計画では、令和4年度に稼働25年目を迎えた墨田清掃工場について、令和11年度に建替工事を予定としている。

建替えに当たり、清掃一組では、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢による事費用の高騰による厳しい財政状況への対応を図るため、整備手法の比較検討が行われた。

整備手法の比較

整備手法	リニューアル工事	建替工事
概要	<ul style="list-style-type: none"> 既存工場の建築物（躯体・煙突）を活かし、施設の設定・機器をすべて更新する工事 建築物（躯体・煙突）についても、調査を行い、必要な改修を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 煙突を含む既存施設を全て解体し新たに施設を建設
焼却能力※ ¹	500 トン/日	500 トン/日
耐用年数	25～30 年	25～30 年
工事の優位性	<ul style="list-style-type: none"> ① 費用の削減（4割程度削減） ② 工事期間の短縮（半分程度に短縮） ③ 省資源化、建設廃棄物の削減 ④ 工事車両の削減、騒音・振動の低減 ⑤ すみだスポーツ健康センターへの熱供給の影響の低減 ⑥ ごみ収集・運搬への影響の低減 	—

事業年度	R6～R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
リニューアル工事	準備期間 (環境アセス等)						半分程度に短縮	
建替工事	準備期間 (環境アセス等)						工事期間	

※1 墨田清掃工場は現行 600 トン/日の焼却能力であるが、公害防止設備の大型化と狭隘な敷地のため、建替工事、リニューアル工事いずれも焼却能力は 500 トン/日となる。

上記の検討の結果、『工期短縮』や『費用削減』等に効果があることから、リニューアル工事の整備手法に変更する予定となった。

2 整備に伴う準備期間と標準的な整備期間

清掃工場の建替工事を実施する際には、各種手続を工事着手の約5年前から開始する必要がある。

	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	工事着工 年度	工事中	しゅん工後 1年間
計 建 画 替	建替計画の策定							
環 境 手 影 響 評 価	調査計画書の作成	審議会	現況調査・評価書案の作成	住民説明会 審議会	評価書の作成		事後調査 (工事中)	事後調査 (稼働中)
契 約 ・ 工 事				契約手続(総合評価落札方式)		建替工事		

3 今後のスケジュール

- 令和5年2月 清掃リサイクル主管課長会、清掃主管部長会へ報告
清掃一組会議体報告（経営委員会、評議会、全員協議会）
- 令和5年3月 墨田清掃工場運営協議会
一廃計画の一部変更の決定、告示、清掃一組HP公表

※ 工事計画については、適宜、住民説明会や建替協議会にて周知予定